



犠牲者へのいのり、復興へのいのり

43人が犠牲となった普賢岳大火砕流から22年。
6月3日は、本市を始め島原半島は、「いのり」の気持ちで包まれていました。雲仙岳災害記念館で行われた「いのりの灯」では、本市や島原市内の幼稚園や小中学生が作成したキャンドルが並び、参加者は手を合わせていました。
大野木場小の横田千聖さんは、「大火砕流で多くの人たちが悲しんだので、みんなが幸せに暮らせますようにと願いキャンドルを作った」と話しました。また、深江中の永石千尋さんは、「東日本大震災で被害を受けた東北の地が、早く復興できますように」と願いました。



(前列左端)木村優仁さん、(後列左端から)林田博さん、七條和久さん

行政相談委員の七條さん、林田さん、木村さんが表彰

行政相談委員の七條和久さん、林田博さんが、行政相談活動に尽力されたことにより、この度、長崎行政評価事務所長感謝状を受賞されました。

同じく行政相談委員の木村優仁さんは、永年の功績がたたえられ、全国行政相談委員連合協議会会長表彰を受賞されました。七條さんは平成22年から、林田さんは平23年から、木村さんは平成13年から、本市担当の行政相談委員に委嘱されており、無報酬のボランティアとして市民から行政上の苦情や要望を受け付けられています。

これからもよろしくお祈りします。



左から小淵俊樹さん、坂木隆さん(木村大地さんは欠席)

お手柄!! 漁師仲間を救助

5月15日(休)、水難事故で人命救助の功労があった坂木隆さん、小淵俊樹さん、木村大地さんに南島原消防署長より感謝状が贈られました。

3人は今年4月、南有馬漁港で誤って浮棧橋から海に転落し、助けを求めている高齢の漁師を協力して救助。この時の海水の温度は低く、そして海面から浮棧橋までは高さがあり、自力では上がることは不可能な状態でした。

万が一、発見が遅れていたならば命に危険があったという事態でしたが、3人のお手柄により無事救助されました。



(前列左から)林田海柊くん、植木彰人くん、川崎莉子ちゃん、本多恵丞くん(後列左から)本村優雅くんとお母さん、松尾日与莉ちゃん、梶原未琴ちゃん、紙永花夢ちゃん

歯科保健図画コンクールで入賞

6月9日「お口の健康まつり」が島原市で開催。まつりの中でむし歯予防啓発のための「歯科保健図画コンクール」表彰式が行われ、本市からは次の皆さんが入賞しました。おめでとうございます。

受賞名	受賞者
島原南高歯科医師会長賞	植木 彰人くん(西有家町)
南島原市長賞	川崎 莉子ちゃん(西有家町)
長崎県県南保健所長賞	本多 恵丞くん(南有馬町)
島原半島保育会連絡協議会長賞	林田 海柊くん(布津町)
島原南高歯科衛生士会長賞	本村 優雅くん(有家町)
優秀賞	紙永 花夢ちゃん(深江町)
〃	梶原 未琴ちゃん(西有家町)
〃	松尾日与莉ちゃん(口之津町)

Focus in 南島原 まちの話題



ひまわりが元気に咲いたよ

平成20年3月末で廃線(島場外港～加津佐間)となった、島原鉄道線跡地の北有馬駅周辺500mに植えられた、約1万本の「ひまわり」が元気に咲き、訪れた人たちの目を楽しませていました。このひまわりは、北有馬町自治会長が主体となり、地域住民や事業所、婦人会など約150人で植えられたもので、島鉄跡地を生かして美しいまちにしようと願い行われました。

ひまわりのように、人が元気、まちが元気となりますように。



駆け抜けた! 小豆島

姉妹都市交流事業の一環として、5月26日に香川県小豆島で開催されたオリーブマラソンに本市から4人の選手が出場しました。第36回となる今大会には、全国から5,627人が出場。本市選手団も3人がハーフ、1人は5キロの部に出場し、真夏のような暑さの中、全員が無事完走しました。また、マラソン後には「二十四の瞳」の舞台となった映画村や、オリーブ公園、瀬戸内国際芸術祭の作品などを視察しました。

今年、小豆島町と本市は、姉妹都市締結30年という節目の年に当たります。このことをお祝いするため、さまざまな記念事業が計画されています。



まちの話題(2~3)



世界遺産シンポジウム(6~7)



アクアスロン大会告知(16)

CONTENTS

まちの話題	2~3
南島原市の国保財政の状況	4~5
特集:南島原市世界遺産登録推進シンポジウム	6~7
インターネットを使った選挙運動ができるようになります	8
南島原にゆーす	9~15
アクアスロン大会告知	16
マリノフェスタinくちのつ告知	17
復興への絆	18
島原半島世界ジオパーク	19
くらしの情報	20~22
自衛官募集	23
南島原市図書館だより	24
国際交流員コラム	25
保健事業のご案内	26~27
市民カレンダー	28